

# キリッと キラッと!

## 学力向上座談会 「志望校の選び方」



学力向上委員会では10月20日、進路指導担当の小谷智恵子主幹教諭をお招きして、「志望校の選び方～希望の進路に進むために～」をテーマとした座談会を行いました。進路決定を間近に控えた3年生の保護者はもちろんのこと、今年度は学区拡大のため例年以上に関心や不安をお持ちの1、2年保護者の方も多く、あいにくの雨にもかかわらず約40名の方にご参加いただきました。

また後半には、昨年度の座談会で好評だった、西中を卒業して現在高校に通うお子さんの保護者の皆様に来ていただき、親の目から見た実際の高校生活についてお話をうかがう時間を今年も設けました。当日の内容をまとめてみましたので、今後の志望校決定の参考にしてみてください。



### ①学区拡大にともなう変化・課題

学区改正に伴い、今年度より受験できる高校の選択肢が増えました。また第2学区全体で募集定員が3クラス分増えました。しかし安心はしてられません。西中生に限って言えば、昨年度までは推薦入試でしか受けられなかった尼崎の高校を一般試験で受けるという場合を除いて、現時点では大半の生徒が従来の伊丹学区の高校を希望しているのに対し、伊丹に隣接する他市では、「自転車通学ができて便利だから」と伊丹の高校を希望する生徒が増えていくからです。つまり伊丹の高校に入るのが以前より難しくなる可能性があります。

### ②オープンスクールに参加しましょう!

どんな学校が合うかは人によって違います。また口コミや上の子の受験の時に集めた情報が古くなっている場合もあります。気になる学校には足を運び、通学状況や学校の雰囲気や直接感ることが大切です。少なくとも受験する学校の説明会・オープンスクールには必ず足を運びましょう。ある先輩保護者の体験談として、「最初は普通科以外全く考えていなかったが、オープンスクールに参加したついでにたまたま同じ学校の専門学科ものぞいてみたところ、そっちの方が子どもに合っている感じがしたので、最終的にその専門学科を進路先に選んで満足している。」というお話もありました。

### ③どんな学校に行きたいのか?

たとえば難関大学に進学できる学校、部活動が楽しめる学校、就職に有利な学校など…。

「この学校に行きたい!」という気持ちや受験勉強のモチベーションになります。入学後も「3年間ここで頑張る!」という学校生活や学習への意欲にもつながります。そして必ず**最後は本人が進路を決める**事が大切です。入学してから「お母さんが受けろって言ったからこの学校に入ったのに…」なんて事にならないように、自分で直接見て聞いて、卒業後の見通しまで含めてしっかり考えさせてみましょう。3年間通うのは子どもたち自身です!

#### ④併願校も含め、どんな選択肢があるか？

★公立or私立      ★全日制or定時制（多部制）or通信制      ★共学or男子校・女子校  
★普通科or総合学科or専門学科      ★学年制or単位制      ★宗教を教育の柱とする学校      等  
学校ごとに、さまざまな制度や特色の違いがあります。学校説明会などに参加するほか、パンフレットやインターネットのホームページなどでも情報は集められますので、家庭の状況や本人の特性に合わせた選択をできるように積極的に調べましょう。  
また今年度から一般と推薦の両方の方法で受験できる公立校が増えましたが、チャンスが2回あるとは考えないでください。試験の内容が違うので、両方の準備をするとなると本人にとってかなりの負担になります。

	＜公立高校の主な特徴＞
長所	○幅広い選択肢    ○市内は知り合いが多数 ○部活動と勉強のバランス ○経済的（年間約30万円前後）
短所	△難関大学を希望するなら塾通いが必要 △学力幅が大きく指導が画一的 △知り合いが多く中学生気分のまま

	＜私立高校の主な特徴＞
長所	○自分の進路に合ったカリキュラム ○学力幅が小さく指導が丁寧 ○一定の学力で授業料等免除などあり
短所	△どんな特色があるのか見極めが必要 △経済的な負担が大きい ・減免制度あり

#### ～先輩保護者の話～

事前にお子さんに「うちの高校、ここがいい」という内容でインタビューをお願いしていましたが、先生の指導の手厚さや専門学科の選択肢の多さ、また中にはプールが無いといったユニークな意見まで、多岐にわたる特色が出てきました。更に家庭での学習課題の話になりましたが、「毎日たくさんの課題が出るので学習習慣がつき、学力も伸びた」という人、逆に「課題が少な目だからこそ、自分に必要な内容に絞って集中的に学習できる」という人もいて、自分の肌にあった学校を選ぶべきという小谷先生のお話をまさに裏付けるような内容でした。座談会の終了後も、個別に残って熱心に質問されている方もいらっしゃいました。

#### 座談会に参加された人の感想



- ・ 実際に高校に通っている保護者の話はとても参考になりました。親の意見をおしつけないように、子どもが楽しく高校生活が送れるように、今後話し合っていきたいです。（3年）
- ・ 小谷先生のお話も去年とは違って、今年の校区編成での緊張感が感じられました。（2年）
- ・ 子どもが何をしたいのか、どんな分野に行きたいのか、早く決める事がとても大切なんだと思いました。あと各学年別でやってほしいです。（1年）
- ・ 進路希望調査の結果や定員増の学校のことを聞いたのがよかったです。（3年）
- ・ 公立の話が多かったので、もっといろいろな学校の話とか、これを機に成績がのびたとか、そんな話も聞きたいと思いました。（2年）
- ・ 先生の「お母さんが行けていったから」の話は肝に命じます。（2年）
- ・ 先輩ママたちのお話などを聞く機会が子どもたちにもあれば良いかと思えます。（3年）

ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。